

美しい森林づくり

天正の滝自然公園と山女の森にて

秋田森林管理署湯沢支署

「天正の滝」でナラ枯れ予防

当支署管内には、自然豊かな東成瀬村を代表する景勝地「天正の滝」があります。名前は天正年間に発見されたことに由来し、落差20m以上の水量豊富な滝の姿は実に壮観で、周辺の森林と一体化し四季折々に美しい景観を作りだしています。

東成瀬村では「天正の滝自然公園」として周辺の施設整備を進めており、国有林でも森林の保護、自然観察や憩いの場及び地域振興と活性化に資することを目的に、平成三年に周囲の森林を「郷土の森」として設定し、保護活動に取り組んでいます。

天正の滝周辺の森林は樹齢75年生以上のブナを主とする広葉樹で構成されていますが、その中にはミズナラ等のナラ類も多く存在します。ナラ類については、近年全国的に被害が拡大している「ナラ枯れ」と呼ばれる伝染病により、集団枯損やそれによる景観等への悪影響が及ぼされるのが心配されています。そのため、当支署ではナラ枯れ予防として、天正の滝周辺の森林におけるミズナラの健全木への殺菌剤の注入（樹幹注入）を計画的に行っています。

令和2年については9月17日に職員6名が2班に分かれ、ミズナラ34本に樹幹注入を行いました。



作業後に天正の滝にて



樹幹注入作業の様子

作業は、まず木の太さに応じた数の注入孔を根元付近に開け、次にそこに殺菌剤を注入するという工程で行いました。ドリルで穴を開ける担当者、開けた穴にマーカー（竹串）を差し込んで表示する担当者、注入器での薬剤注入する担当者で分担し、効率的に作業を終了することができました。

薬剤の効果は二年程であり、今後も定期的に樹幹注入が必要となりますが、この素晴らしい景勝地を後世に残すため、しっかりと地域との連携を図りつつ保護に務めていかなければとの思いを職員一同強くしました。

「山女の森」で育樹活動

当支署と役内・雄物川漁業協同組合（以下、漁協）は、湯沢市秋ノ宮役内山国有林内の1haを「社会貢献の森」とする協定を締結しています。「山女（ヤマメ）の森」と名付けられた当地では、例年漁協の主催による植栽・補植等の育樹イベントが行われています。

昨年6月1日にはブナの苗木の補植作業を実施しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、漁協関係者、協力企業など子供を含む計44名が参加しました。

また、当支署からも支署長はじめ6名が安全指導等のサポート役に当たりました。

開会セレモニーのあと、1.5m程のブナの苗木を2〜3人で協力しながら、鍬で大きめに穴を掘り、植え付け、土を被せしっかりと踏み固めて植栽しました。



山女の森での作業の様子

子供たちも大人のサポートを受けながら頑張って植樹し、緑豊かなブナの森になるようお願いを込めながら一時間程で無事に補植を終了しました。



山女の森で記念写真

今年6月に下刈作業をメインとしたイベントの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく中止となりました。

漁協では、来年は是非とも行事を実施したいとの思いがあり、当支署としても新型コロナウイルスが早く落ち着くことを職員一同願うばかりです。

余談となりますが、この周辺地域には、映画「釣りキチ三平」のロケ地もあり、原作者である漫画家の矢口高雄さんが、地元の銀行マン時代に4百人規模で開催された役内川鮎釣り大会で2回も優勝しているとのこと。

当支署と致しましては上流部の森林整備を適切に行い、全国に誇れる役内川の清流を守っていかねければと強く感じているところです。